

第3回世界水フォーラムについて

世界水フォーラムとは

現在、世界各地で水不足や水質汚染、洪水等が深刻化しており、その解決に向けて各国政府、NGO、専門家等が連携して取り組んでいくことが必要になっている。

世界水フォーラムは、このような状況の下、関係者が集まり、水に関する諸問題について論議を行うもので、第1回は1997年にモロッコのマラケシュ、第2回は2000年にオランダのハーグで開催された。

第3回世界水フォーラムは、世界水会議（WWC）と第3回世界水フォーラム運営委員会（会長：橋本龍太郎元総理）の共催により、2003年3月16日から23日にかけて京都、大阪、滋賀を結んで開催される予定となっている。

閣僚級国際会議について

フォーラム後半の3月22、23の両日京都国際会館で100か国以上から水に関係する閣僚と国際機関の代表が参加し、閣僚級国際会議が行われる。

22日には、閣僚等が5つの分科会に分かれて議論をする予定であり、「水質汚濁防止と生態系保全」等の分科会で、森林について取り上げられる見込みである。